学校番号	1101

令和２年度　家庭科

教科	専門家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「子どもの発達と保育　育つ・育てる・育ち合う」　（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇将来、保育関係の進路を考えている人や、保育に興味をもつ人が選択する科目です。

・受胎から乳幼児期を中心とした学習内容を学びます。

・講義と実習を同比率で展開します。講義にも実習にも積極的に参加しましょう。

・保育所での実習を年２回行います。意欲的に参加しましょう。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見い出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。	保育園での実習を通し、子どもの年齢に則した保育内容の企画および実践ができる。 玩具製作や絵本の読み聞かせなど、保育に関する基礎的な技能が身に付いている。	子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識を習得し，子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	授業観察 授業プリント ワークシート 自己評価　等	授業観察 授業プリント ワークシート 実習レポート 実習製作物 自己評価　等	授業観察 ワークシート 実習レポート 実習製作物 発表 自己評価　等	授業観察 授業プリント ワークシート 実習レポート 定期考査　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	子どもの発達の特性	○学ぶにあたって ○生涯発達における乳幼児期の重要性 「三歳児神話」について ＊グループでの意見交換 ○発達と環境 ○発達観・児童観とは ＊いちごのピンクッション作製（実習用名札作製の練習） ◇年間を通じて、講義1H・実習1Hで展開する	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a. 人間の発達に関して興味・関心をもち，特に乳幼児期の発達についての概略を学ぼうとしている。 b. 現代における発達観を踏まえて，自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのか、客観的に分析し考察できる。 c. 乳幼児用小物づくりに関すす基礎的な技術が身についている。 d. 乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。	授業観察 授業プリント ワークシート 自己評価 定期考査
5月～7月	子どもの発達過程	○身体発育と運動機能の発達 ○乳幼児期のからだの発育 ○乳幼児期の発達の特徴 ○人間関係の発達 ○心の発達 ＊実習用名札作製 ＊dvd「保育士の仕事」 ＊保育所での実習（1回目）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a. 胎児・乳幼児期の発達の特徴について関心をもっている。保育所での実習に意欲的に関わっている。 b. 胎児・乳幼児期の発育・発達には、母体を中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、考えを深めている。保育所での実習により、知識の深化を図ることができている。 c. 園児が触れても安全な名札の作製ができている。事前に学習した内容をふまえ、保育所での実習に取り組んでいる。 d. 胎児・乳幼児期の身体的・生理的な発達の特徴について理解している。	授業観察 授業プリント ワークシート 実習レポート 自己評価 定期考査
8月	インターンシップへの参加	＊夏休みのインターンシップ（保育士体験等）への参加を促す					授業時間内で行う保育所実習は時間制限があるため、保育所の一日の流れやそれに伴う乳幼児の様子を把握できない。インターンシップに参加することにより、学習内容および乳幼児理解の深化を図る。	評価外

9 月 ～ 12 月	子どもの生活	○子どもの健康と生活 ○子どもの食事 ＊離乳食 ＊子どものおやつ実習 ＊子どもの食事実習 ○子どもの衣生活 ＊おむつについて考える ＊衣服の素材や形状 ○子どもの遊びと生活 ＊玩具の作製 ＊切り紙、壁紙作製 ＊絵本の読み聞かせ実習 ＊絵本の読み聞かせテスト ○子どもの健康管理 ＊保育所での実習（2 回目）	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a. 発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。子どもの生活に関心をもち、理解しようとしている。 b. 子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えを深めている。 c. 実習を通して、発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。 子どもの養護に関する基礎的な技能が身についている。 d. 子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 実習レポート 自己評価 定期考査
1 月	子どもの保育	○保育の意義と目標 ○保育の方法 ○保育の環境 ＊少子化の理由を考える （グループワーク）	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a. 乳幼児の健やかな育ちを支える保育の方法や環境について関心をもち、理解しようとしている。 b. 乳幼児の健やかな育ちを支える保育の方法や環境の大切さについて理解し、発達過程に応じた関わり方について考えを深めている。 C. 乳幼児の発達過程に応じた関わり方について、他者の意見をきき、検討する技術を身につけている。 d. 保育の意義と目標について理解している。子どもの健やかな育ちを支える知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 自己評価 定期考査

2月 3月	子どもの福祉と子育て支援	○子どもの福祉 ○子育て支援 ＊地域の子育て支援について調べる ＊ダイヤモンドランキング 保育について大切にしたいこと	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a. 子育て家庭に対する社会的支援の必要性について関心をもち理解しようとしている。 b. 子ども・子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c. 現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について自身で情報を整理することができる。愛着関係の重要性についての情報を整理できる。 d. 子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要性や望ましい方向性について理解している。新生児期から乳児期までの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。	授業観察 授業プリント ワークシート 自己評価 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。